

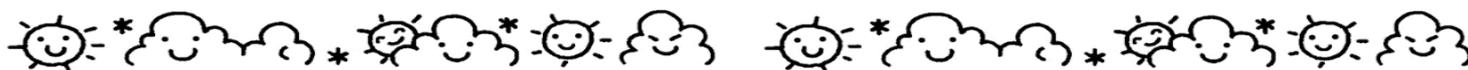
ほけんだより ～夏号～



令和6年8月1日

社会福祉法人えどがわ
西葛西おひさま保育園

6月は歯科検診がありました。登園のご協力ありがとうございました。また、ヘルパンギーナや手足口病などが流行り、通院等のご協力もありがとうございました。連日の猛暑で、体力が奪われやすくなっています。暑い夏を乗り切る為に、沢山食べて、しっかり休息を取り、体調の変化に気を付けながら、元気に夏を楽しみましょう！



乳幼児の熱中症

乳幼児は体温の調節機能が未発達のため、熱中症になりやすいと言われています。
また、背の低い子どもは地面に近い為、照り返しを受けやすく、暑くなりやすいといえます。
小まめな水分補給を心掛け、帽子の着用や風通しの良い服装を心掛けましょう！

熱中症に備えよう



子どもの三大夏風邪

- 1、ヘルパンギーナ・・・発熱と口蓋垂周辺に水膨れが現れる感染症です。飛沫感染や接触感染が多い為、予防には手洗いが有効です。回復した後も、2～4週間の長期に渡り、便の中にもウイルスが排出されている為、オムツ替えなどは手洗いを徹底しましょう！
- 2、手足口病・・・口の中や手足などに水泡性発疹が出る感染症です。手洗いを徹底し、タオルの共有はやめましょう。唾液の着いた玩具を触ったり舐めたりすることでも感染してしまうため、乳幼児の集団生活施設内での感染を防ぐことは難しいとされています。ほとんどの人が子どものうちに感染し、免疫をつけてきた感染症です。
- 3、咽頭結膜炎（プール熱）・・・発熱、喉の痛み、結膜炎による充血などが現れる感染症です。プールの水やタオルの共用等で感染することがあるため「プール熱」ともいわれています。予防には感染者との接触を避けたり、手洗いうがいが有効とされています。プールを行った日は必ずお風呂にはいりましょう！